

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-34 施設整備事業(雨水)				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				543	雨水管渠整備事業	
主管課	河川課		関連課		道水路管理課・道路整備課・下水道課、総合防災課		
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	浸水被害の解消						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	155,874千円	152,255千円				
	(国・県)	7,372千円	45,747千円				指標と評価
	(負担金等)						指標
	(一般財源)	148,502千円	106,508千円				雨水整備率 雨水整備費
	人員配置数	2.5人	4.5人				評価
	人件費	21,976千円	40,652千円				○
	協働の パートナー	神奈川県・横浜市	神奈川県・横浜市				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退
事務事業 運営経費	総事業費	177,850千円	192,907千円				目標値
	市民1人当 りの経費	1,007円	1,093円				実績値
	対象者1人 当りの経費						
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	鎌倉市77.5%	横浜市62.6%	川崎市48.5%	横須賀市63.7%	平塚市75.7%	20年度
		藤沢市66.7%	小田原市92.6%	茅ヶ崎市46.7%	逗子市99.3%	相模原市47.2%	77%
		三浦市68.3%	秦野市34.8%	厚木市66.1%	大和市67.1%	伊勢原市25.2%	650,000
		海老名市38.4%	座間市32.4%	南足柄市49.0%	綾瀬市58.4%		77%
							152,255
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)他企業用地を占用するにあたり、占用位置を再度調整する必要が生じた。 (2)今後抜本的浸水被害の解消には、内水氾濫対策として雨水調整池・貯留管等の設置が必要であるが、用地確保、国庫補助の取得など課題がある。					21年度
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)占用位置を調整した結果、市民生活に支障をきたすことなく施工した。					78%
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)雨水排水整備で、管渠等の計画断面を確保するにあたっては、鎌倉市域の特性として、雨水管を埋設する道路幅員が狭小で、また既に水道管やガス管などが埋設されており、断面の大きな雨水管を埋設するためには、移設補償費の増大や工事の困難性を伴う。 (2)今後抜本的浸水被害の解消には、内水対策として雨水調整池・貯留管等の設置が必要であるが、用地確保、国庫補助の取得など課題がある。					270,192
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (2)浸水地域を対象に策定した「鎌倉市下水道総合浸水対策基本計画」を基本に効率的な雨水整備を進める。					78%
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	近年の都市型水害からの被害を軽減させるため、「鎌倉市下水道総合浸水対策基本計画」に基づき、雨水排水施設の整備を積極的に進める。			評価結果	改善の必要性	「鎌倉市下水道総合浸水対策基本計画」に基づき、浸水被害の解消に向け取り組む。
A	有				A	有	
課長名		河川課長 米木 弘行			部名・部長名		都市整備部 山内 廣行